

お 知 ら せ

平成26年10月27日
国土交通省中部地方整備局
入札監視委員会第二部会事務局

中部地方整備局入札監視委員会第二部会が第2回定例会議を開催 — 審 議 概 要 公 表 —

中部地方整備局入札監視委員会第二部会の平成26年度第2回定例会議を10月9日、中部地方整備局にて開催しました。

第二部会第2回定例会議では、発注工事等の中から抽出した5件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関です。

当該委員会では、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成26年10月9日（木）10時00分～11時45分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ

名古屋港記者クラブ

港湾新聞

港湾空港タイムス

日本海事新聞

海事プレス

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 平野 道男

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

別紙1

平成26年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成26年10月9日(木) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 横溝 大 (大学院教授) 北野 利一 (大学院准教授) 伊藤 倫文 (弁護士)		
審議対象期間	平成26年4月1日～平成26年6月30日		
抽出案件数	総件数 5 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	0 件	
	一般競争入札 (政府調達適用外)	2 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	2 件		
建設コンサルタント業務等 公募型プロポーザル	0 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告はなし。		

別紙1-2 抽出案件一覧表
【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

期間 平成26年4月1日～平成26年6月30日

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成26年度 下田港防波堤築造工事	港湾土木工事	5	4	4月4日	若築建設(株)	371,520	89.2	
平成26年度 名古屋港外港地区防波堤根固工事	港湾土木工事	1	1	6月24日	宇佐美工業(株)	166,320	97.0	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式)

期間 平成26年4月1日～平成26年6月30日

業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成26年度 伊勢湾環境データベース改良検討業務	建設コンサルタント等	1	1	4月24日	国際航業(株)	15,498	86.4	
平成26年度 四日市港外港地区東防波堤(改良)実施設計	建設コンサルタント等	1	1	6月9日	(株)ブライア・コンサルタント	11,340	94.6	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

期間 平成26年4月1日～平成26年6月30日

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成26年度 中山水道航路保全標識維持管理	役務の提供等	1	1	4月1日	神野建設(株)	7,668	97.6	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成26年度 下田港防波堤築造工事	落札者の技術評価が他社より高かった理由は何か。	方塊(本土工)の効率的な据付方法の提案について、評価すべき提案が多く、他社の提案よりも高い効果が期待できると判断した結果によるものです。
	本工事は防波堤開口部西側の施工であるが東側も同様に施工するのか。また、その時期はいつか。	平成27年度以降に東側も同様に施工する予定です。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成26年度 名古屋 港外港地区防波堤根 固工事	2社の参加表明があつて、結果1社 の入札ということだが、限られた業者 しか対応できない工事なのか。	比較的単純な工事であり、21社の参加可能者を想定してい ました。
	その中で結果として2社だった要因 は何か。	この工事の入札説明書を25社が入手しており、入札後にそ の数社にヒアリングしたところ、技術者が他の工事に配置して いなかったという回答でした。
	技術者の不足はブロックが大きかつ たためか。	製作するブロックの大半を占める15トンを基準としましたが、 それが一因とも考えられます。
	本件は適正に処理された。	
3. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)		
平成26年度 伊勢湾 環境データベース改良 検討業務	今回が初めての改良か。	平成19年度に改良しています。
	本データベースを構築した業者と前回 改良を行った業者はどこか。	いずれも、今回の受注者です。
	保守管理のみの場合の発注方法 は？ また、その受注者はどこか。	保守管理業務のみの場合は役務の提供で発注します。 昨年度は2社の応募があり、今回受注社とは別の業者が受 注しております。
	想定された同種類別の業者数と、入 札説明書をダウンロードした者数は 何社いたのか。	同種4社、類似10社 合計14社です。 ダウンロードを行った社は11社ありました。
	評価値の多寡によって欠格とするこ とはあるのか。	評価値の多寡によって欠格とすることはありません。 ただし、技術提案審の内容により、業務が適切に履行できな いと判断される場合は無効とすることがあります。
	本件は適正に処理された。	

4. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)		
平成26年度 四日市 港外港地区東防波堤 (改良)実施設計	参加の想定業者は？	事前に調査した結果では29社、内同種は15社でした。
	基本設計ではどのような契約方式で、どの業者が受注したか。	総合評価方式で今回とは別の業者が落札しています。
	1社となった理由は。	中央道笹子トンネル事故以来、既存社会資本ストックの改良について河川、道路関係も数多く発注されているため、技術者が不足していると思われます。 この業務については、防波堤の補修の実施設計の実績であるが、事前調査で業務実績を有する社は29社で、うち同種が15社あるものの、業務実績が同種23件、類似66件と非常に少なく1社に平均2件弱となっており、技術者が1社に1名程度と非常に少なく、通常の基本設計の約5分の1であったようです。
	技術評価点が低いのでは。	今回は「その他」について記載が無かったため、その20点に対する評価が得られなかったこと、実施手順で若干不備があり、この評価となっています。
	本件は適正に処理された。	

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)		
平成26年度 中山水道航路保全標識維持管理	本業務の過去の受注者の変遷は。	平成17年度から開始し、平成17年度は今回受注者、その後、平成18年度から平成20年度までB社、平成21年度以降は今回受注者です。
	毎年 同じ入札方法なのか。	平成17年度から開始し、平成17年度から平成20年度までは指名競争、平成21年度から一般競争を行っています。
	1社応札の理由は。	航路標識の維持管理は海象状況に大きく左右される作業で、場合によっては作業員等の拘束日数が多くなりやすく、経費がかさむ業務であり、入札者の敬遠しがちな業務であることが、1社応札の原因と思われます。
	想定される社は何社いたのか。	9社です。
	過去の応札者の状況は。	一般競争に移行してからは、今回受注している会社の1社応札となっています。
	同じ会社が連続して受注しているが、その社を排除する方法はあるのか。	現在の入札方式では、方法はありません。
	1社応札が続き、競争性を保てていないと思うが、どう考えているのか。	発注ランクをA～Dまで広げて、要件も最低限なものにしているので、競争性は確保されていると思いますが、品質確保と競争性の観点から何か改善策がないか今後検討いたします。
	本件は適正に処理された。	
6. その他		
	今後の留意事項として、中山水道航路保全標識維持管理の1社入札が継続的に続く状態について方を講じていただきたい。	